

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★今年度の『本校生徒の主体性を高める12項目』に対する検証①★

①『生徒の主体性を育てる授業』

今年度の『SAH 生徒対象非認知能力アンケート』では『非認知能力を向上させる場面』の『第3位』として生徒が『授業』をあげています。また、本校職員に対する『授業改善ポイント』のひとつのテーマとして設定し、互いに授業を参観し合い、引き続き、『認知能力&非認知能力の両者を向上させる効果的な教授法』を求め、教員は自己研鑽し研究して参ります！



②『個別最適化した生徒への課題』

生徒に『同一課題』を課す時もありますが、『範囲を設定し、その中から自分にとって最適な課題を選択する』『問題集自体を生徒が個別に選択する』等を開始している教科もあります！『進路だより』でも示されていましたが、『Classi』のAIを駆使した『個別最適学習機能』の活用も始まっています！7月模試に向けてClassi『学習トレーニング機能』を使ってみませんか？

③すべての『考査』を4日間で実施

1学期中間考査を『4日間』で実施しましたが、『1日に実施する試験科目』が少ない日が生まれ、集中して学習できずはすです。また、早い時間に放課となり、大会が週末にあった部活動では、短時間の練習を行ったとしても学習時間が確保できずはすです。しかし、『ゆとり』の有効活用は『人によって異なる』という点が課題となったことでしょう。『自分で考え、判断し、行動する』ということは、『個人差が出る』ということになります！今回の反省を次回に活かしましょう！

④生徒が作成した『身だしなみルール』の運用

『生活委員会』を中心に取り組んでいる『身だしなみのセルフチェック化』により、生徒ひとりひとりが主体的に『社会で通用する身だしなみ』を意識して過ごしています。従来の教員主導の『検査的』な服装頭髪指導を行わずに、生徒が自分を律することができています！これってすごくないですか！生徒のみなさんの意識の高さの現れです！

⑤『身だしなみ』の『セルフチェック化』

⑥『3年間を見通した進路指導』

⑧『生徒の主体性を育成する補習』の企画

⑦『サタデープラン』の大幅縮小

⑨『Classi』を利用した自主学習促進

今年度の大きな変化としては、1,2年対象の『サタデープラン』の『土曜補習』を廃止したことがあげられます。生徒に『自由な時間』を返却したことになりますが、『中間考査4日制』としたことと同様に、『自らの自由度の高い時間の活用法』には『個人差』が出るのが予想されます。これは『SAH 生徒対象非認知能力アンケート』結果でも生徒が自覚しているという結果が出ています。生徒のみなさん、『工夫力』を磨く機会です！また、『教わる』ではなく『学ぶ』へというスローガンのもと『やらされている補習』ではなく『生徒が主体的に参加できる補習』も計画中です！3年生につきましては、共通テストの新科目『情報Ⅰ』の自主学習ツールとして『Classi』の利用が不可欠です！『情報Ⅰ』についても、すでに『配信』を含め、情報提供が行われています！Classiの『AI』をフル活用していきましょう！

⑩『生徒の主体性を発揮できる学校行事』の設定

⑪『生徒の主体性を発揮できる部活動』の促進

⑫『生徒の主体性を発揮できる環境』の整備

今年行った『文化祭』、『SAH 生徒対象非認知能力アンケート』で『非認知能力を発揮できる場面』の『第1位』の部活動、『アイス自販機』のように、生徒の『Well-being』を高められる環境の整備、等に続く取組をさらに目指します！『中庭活用の活性化』を促す設備拡充も計画中です！1学年では『スキー教室』『大学見学』等の学校行事があり、2学年では『修学旅行』もあります。生徒会が行う『スポーツ大会』もさらに『発展』できるとよいですね！

まだまだ走り始めた本校のSAHですが『計画になかった生徒企画』も昨年度はたくさんありました。現在の生徒会のみなさんの任期もあとわずか。あっという間の1年でしたね。今後も生徒の自由な発想による取組に期待しています！（文責：教頭 星野 亨）

★校長より★ 今年度も本校の『Well-being を高められる取組』を生徒の皆さんに企画、実施してもらいたいと考えています。昨年度は「希望者対象スキー教室」や「野球部応援ツアー」、「アイスクリームの自販機設置」など、生徒の立案により色々な企画が実現しました。皆さんのアイデアで出された企画で良いものは、検討し、皆さんの力で実現する方向で進めていきたいと考えています。みなさんのアイデアを話しに来てください。校長室で待っています。

校長 原 拓史